

2018年4月13日

千葉県知事
森田健作様

生活協同組合パルシステム千葉
理事長 佐々木 博子

2017年度 ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

生活協同組合パルシステム千葉「ちばSSKプロジェクトに関する取り組みの年間計画」について、2017年度のちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2017年度計画のまとめ

生活協同組合パルシステム千葉は、商品の宅配など日々の業務と組合員活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

■宅配事業および夕食宅配事業において高齢者の見守り活動に取り組み、異変を察知した場合には、市町村との見守り協定にもとづき、119番、警察署、市町村などへの通報を行いました。通報により、室内で倒れていた夕食宅配弁当を利用する一人暮らし高齢者が無事救助されるなど、SSKプロジェクトの取り組み効果があがっています。

II 「ちばSSKプロジェクト」

■事業案内パンフレット、ホームページ上にSSKプロジェクトの取り組みやロゴマークを紹介し啓発を行いました。

III 認知症対策

■管理職を中心に認知症サポーター養成講座を実施し、認知症者の特性や日常業務における対応について配送現場職員と共有しました。また組合員が地域で開催する認知症関連講座に講師を派遣する協力を行いました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

■コミュニティ活動助成金やセカンドリーグ千葉などを通して、高齢者の生きがいづくりや助け合いに取り組む団体への支援、及び地域活動団体のイベント開催等の広報協力を行いました。

- 野田市では、生協店舗敷地内にある社会福祉法人施設やNPO法人、および市と協力し、介護予防体操やボランティアによる催し物を併せて行い、高齢者の健康と仲間づくりに取り組みました。

V 高齢者の安全、安心

- 組合員が参加する介護学習会、老後の備えに関わる勉強会の中で消費者被害の防止についての啓発を行いました。

VI 高齢者の雇用

- 定年を迎えた職員の再雇用の環境整備や嘱託職員の新規雇用に継続して取り組みました。

以上